

東急グループ代表 野本 弘文(東急株式会社取締役会長)  
2021年度 東急グループ入社メッセージ【要旨】

東急グループ

1. 日 時 2021年4月1日(木)10:50～
2. 場 所 Bunkamura オーチャードホール(東京都渋谷区)
3. 内 容 2021年度東急グループ合同入社式における東急グループ代表・野本 弘文(東急株式会社取締役会長)によるメッセージ(要旨)

※東急グループでは毎年、首都圏の会社を中心に合同で入社式を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、役員の出席する企業から各2～3名計50名の参加に留め、ライブ配信を中心に実施しました。

○参加会社: 東急、東急不動産、東急電鉄、東急百貨店、東急ストア、東急建設、東急エージェンシーなど59社

○参加人数: 1,158人

【「何のため、なぜ、もし」を考える習慣をつけ、正しい判断力を身に付けよう】

東急グループは、交通事業をはじめ、建設、不動産、生活サービス、ホテル・リゾート事業など、お客さまの生活に密着した幅広い分野で事業を展開しています。また、海外事業においても年々広がりを見せています。

皆さんの夢をかなえる土壌は十分にあります。もし無ければ、新たに造れば良く、皆さんのチャレンジを大いに歓迎します。これから、いろいろな業務に就くと思いますが、どのような仕事であっても、面白くするも、しないも、皆さんの考え方一つです。

今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ワークスタイルも、ライフスタイルも大きく変化していますが、世の中、変化の時には必ずチャンスが生まれてきます。こうした事態にも、私たちができることは何か、もし自分がその立場だったらと、いろいろ考えを巡らすことが大事だと思います。

皆さんは、これから社会人として物事を判断する機会が増えてくると思います。その時、正しい判断ができるかどうかで、その先の結果も違ってきます。少しでも正解に近い判断をしたいものです。

そうした判断力を、若い時から是非鍛えてください。会社の仕事も自分のこととして、言われたままやるのではなく、「何のためにその仕事をやるのか」、「なぜそうしなければならないのか」、「もし自分が上司だったら」、「もっと良い方法はないのか」など、いつも「何のため、なぜ、もし」の三つの疑問を常に意識し、しっかりと考え、行動してほしいと思います。

正しい判断をするためには、いつも何が正しいのか、本来あるべき姿はなにか、など考える習慣を身に付けることが大切です。そのためには、いつもいろいろなものに興味を示し、自分の中に多くの判断基準を持ってください。そして、判断基準のレベルが上がれば上がるほど、大きな判断ができるものと思います。

若い時の経験は、苦い経験でもすべて自分を育てる肥やしとなります。責任ある立場に立った時、正しい判断をするために必ず役に立ってきます。日頃より、大いに考え、行動し、いろいろな事に挑戦してください。社員一人一人がしっかり考えて正しく判断する会社こそ、持続的に成長します。

皆さんの先輩たちの挑戦が、今の東急グループ、そして渋谷の姿を創りあげてきました。渋谷の完成像を見るにはまだ数年かかりますが、その時分には、成長した皆さんが明日の東急グループの姿を考え、それに向かって邁進していると大いに期待しています。

以 上